

治せる認知症

「認知症は、治せない。新治療薬シカネ
マップは、進行を遅くするだけ」と聞いて、
がっかりした人もいる。そこで、今回は、
治せる認知症の話をしよう。

71歳のDさん。「きっと認知症に違いな
い」と、家族に連れられてきた。「まじま
じと、少し忘れっぽいところがあった。それ
が、約2週間ほど前から、急にひどくなっ
た。いつもボーとして、どこでぶつけたの
か、車に痕がついている」と、奥さんはや
や興奮気味である。

確かに、Dさんには、記憶障害や判断力
の低下がみられる。だが、それらの症状が
急に悪くなったというのは、認知症にして
はちょっとヘンだ。よく診ると、左の手足
に軽い麻痺まひがある。すべて、頭のMRI
(磁気共鳴画像)の検査をする。と、大き
な「慢性硬膜下血腫」が見つかったではな
いか。緊急手術をして、Dさんの認知症の
症状も手足の麻痺も、きれいになくなった。
実は、1、2カ月前に、頭を打撲していた
のだ。

Dさんのケースのような治せる認知症には、
慢性硬膜下血腫以外に水頭症や脳腫瘍など
がある。ビタミン欠乏やホルモン異常によ
る病気もある。その治せる認知症と治せな
い認知症との違いは、症状の経過である。

アルツハイマー型などの変性疾患による認
知症では、もの忘れや生活障害などが少
ずつ、ゆっくゆくと、いつの間にか進行する。
一方、治せる認知症では、急に様子が変わ
ったり、もともと忘れっぽかったのが、あ
る時急に進んだりする。手足の力が入らな
いとか、思ったことが言えないなどの脳の
部分的な症状があれば、治せる認知症の疑
いは濃くなる。

認知症に対する不安が強いと、受診をた
めらう人も少なくない。が、治療のタイミ
ングを失うと大事に至ることもあるのだ。
な—に、ちょっとした検査や採血をするだ
けだって。

(石黒修三||いしほろクリニック・脳神

経外科医… 1/25北國新聞掲載)